



令和6年7月号



### 梅雨入り

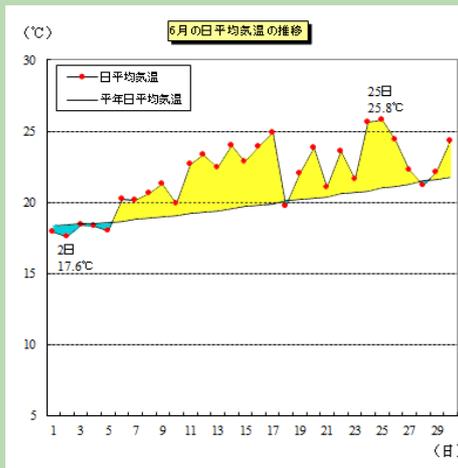
2024年の関東甲信地方の梅雨入りは平年よりかなり遅くなり、6月21日でした。関東甲信地方の梅雨入りとしては過去、3番目に遅い記録となりました。  
平年より14日遅い  
昨年より13日遅い

### 近年の梅雨入りと梅雨明け

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月07日	7月19日
2024年	6月21日 (平年より14日遅い)	
2023年	6月08日 (1日遅)	7月22日
2022年	6月06日 (1日早)	7月23日
2021年	6月14日 (7日遅)	7月16日
2020年	6月11日 (4日遅)	8月01日
2019年	6月07日 (0日)	7月24日
2018年	6月06日 (1日早)	6月29日

### 6月の気候

6月は、はじめ南の海上にあった梅雨前線は下旬になって本州付近に停滞するようになり、前半は周期的に天気が変わりましたが、下旬は雨の降る日が多くなりました。平年より高い気温の日が多く、月平均気温は21・8度と平年よりかなり高く、6月として高い方からの記録1位タイとなりました。また、最高気温の平均も最も高くなりました。また、月合計日照時間は151・6時間と平年より多く、月合計降水量は116・5ミリと平年の74%となりました。



### 一ヶ月予報 (気象庁発表)

中旬にかけて前線や湿った空気の影響を受けやすく、その後は平年同様に晴れの日が多くなる予想です。暖かい空気に覆われやすく、平均気温は「高い」、降水量は「平年並みか多い」、日照時間は、「平年並みか少ない」となる見込みです。



### 梅雨について

関東甲信地方の梅雨について、気象庁が統計を取り始めた1951年からの記録を集めてみました。(2023年までの統計です)

最も早い梅雨入り  
5月6日 (1963年) 5月に梅雨入りしたのは過去に5回ありますが、2番目に早い記録は5月27日なので1番目は特  
7月24日と梅雨の期間は79日間あり、もっとも長い梅雨の日数となっています。

最も遅い梅雨入り  
6月22日 (1967年と2007年)  
今年はこの記録に次いで3番目に遅い梅雨入りでした。2007年の梅雨明けは8月1日と期間が40日間ありましたが、1967年は7月18日梅雨明けで26日間しかありませんでした。

最も早い梅雨明け  
6月29日 (2018年) 6月に梅雨明けしたのはこの年しかありません。梅雨入りは6月6日で梅雨の期間は23日ともっとも短い記録です。

最も遅い梅雨明け  
8月4日 (1982年) 8月に梅雨明けが発表されたのが5回あります。なお、1993年は梅雨明けが特定できませんでした。関東甲信地方で梅雨明けが特定できなかったのはこの1回だけです。



### 天気用語の基礎知識

#### 梅雨

晩春から夏にかけて雨や曇りの日が多く現れる現象やその期間の事を言う。気象庁から、梅雨入りと梅雨明けについて発表があるが、まず、日々の気象予測を基に速報として発表されたあと、梅雨の季節が過ぎ去ってから、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて、梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定している。なお、梅雨入りと梅雨明けの時期は平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があり、おおよそ中日を梅雨入り等の日として示すとされている。

……神峰の山から……  
市役所西側の川で毎年鴨が子育てをしているのですが、今年もその姿を見ることができました。親鳥は回りを警戒しているのか、様子をみていると、じつとこちらを見していました。

筆者の自宅では、6月最終週から、ツバメが夜の間過ごす様子が見られています。巣を作るでもなく、屋根の下で動かないでいます。日が暮れるとやってきて、日が昇るとどこかに飛んで行きます。2羽でいることがほとんどですが、1羽の時もありました。

季節になるとツバメを見かけましたが、家にはいるのは今年がはじめてです。